



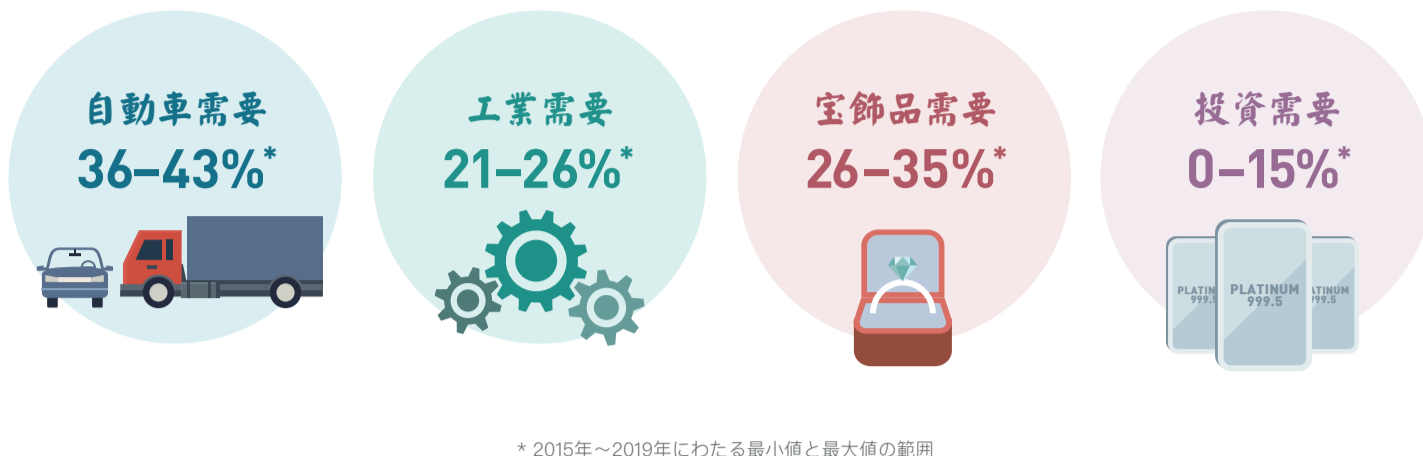
プラチナ

多様な需要の原動力

プラチナは、ユニークな物理的および触媒的特性を持つ世界で最も希少な金属の一つであり、様々な需要セグメントにわたって高く評価されている。

需要の原動力

プラチナ需要には4つのコアセグメントがある。



自動車需要

自動車触媒向けのプラチナ需要は、過去5年間の総需要の **36-43%** に相当する

プラチナは、現在、そして、長期にわたって排ガス削減に肝心な役割を果たす



スパークプラグとO2センサーに使用されるプラチナがより効率良いエンジンをサポートする

プラチナは、CO2削減の効率が平均でガソリン車より20%高いディーゼル車をサポートする。

20% もより効率的

燃料電池におけるプラチナの優れた触媒特性と導電性は、水素と空気を水に変えて、電気を生成し、ゼロエミッションで燃料電池車に電力を供給する

3分の充電で航続距離 600KM

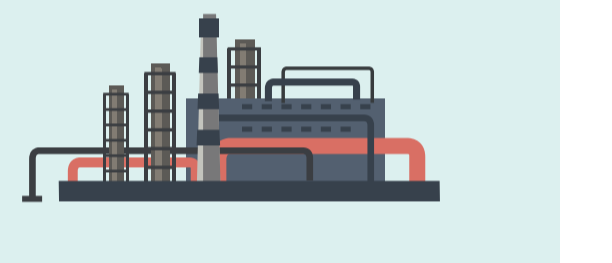
燃料電池 (FCV) は、内燃機関車両のプラチナ量の2倍以上を使っている。

市販車の早期導入者には、トヨタ、ヒュンダイ、ホンダなどが挙げられる

工業需要

他の様々な工業用プラチナ需要は、過去5年間の総需要の **21-26%** を占める

プラチナ触媒は、化学プロセス、例えばオイル1バレルあたりのオクタン価の高い燃料の収率を向上させる。



プラチナはグローバルに化学プロセスの効率を向上させ、メディアのストレージ容量を増加させる

液晶ディスプレイ、光学系や眼科系、ガラス繊維その他の用途で溶融ガラス付きおよび溶融ガラス製の容器には、プラチナが必要である

プラチナは、クラウドストレージをサポートするラップトップおよびサーバー用のハードディスクのストレージ密度を高める。

プラチナはまた、数多くの電子アプリケーションもサポートしている

プラチナには生体適合性があり、ペースメーカーをつないでいる体内に残ったり、鍵穴手術中に器具を可視化したりすることができる。

プラチナベースの治療法は、40年以上にわたって癌治療の最前線に立っている。

宝飾品需要

グローバルの年間宝飾品向け需要は、過去5年間で総プラチナ需要の **26-35%** を占める

プラチナジュエリーは、グローバルでプレミアムステータスと愛との強い繋がりを実現している。



中国はプラチナジュエリーの世界最大の市場である

45%+

インドは、伸びているメンズジュエリー市場を含む成長の牽引力である

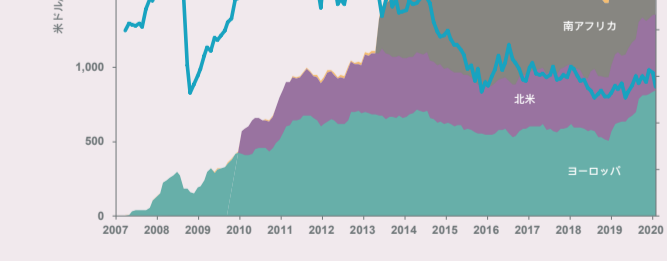
米国では、プラチナが婚約指輪として好ましい選択肢となっているが、日本では新郎新婦の世代に好まれている。

投資需要

投資需要は過去5年間で最も変動しやすい要素であり、総需要の **0-15%** の範囲にある (地上在庫の増減を除いた正味投資)

現物プラチナ上場投資信託 (ETFs) は、いくつかの地域でしっかりと確立されている。

2019年に、投資家はETFに約100万オンスを追加した



2014年後半にワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は、プラチナの投資需要を喚起するために設立された

各地域の投資商品の例示

日本において、個人は1980年代からプラチナ積立プランに投資できるようになった

富裕層と機関投資家が金庫保管インゴットに投資

北米の個人は退職積立プランに織り込んでプラチナ地金コインとインゴットに投資

中国人は伸びているプラチナプリオンブドクツにアクセス可能

COPYRIGHT AND DISCLAIMER

The material in this document is copyright of World Platinum Investment Council Limited and its licensors. © 2020 All rights reserved. No part of this publication may be reproduced without our consent. This document is subject to the terms, conditions and disclaimers on the World Platinum Investment Council Ltd website at www.platinuminvestment.com. Click here to see our full disclaimer which applies to this material. The World Platinum Investment Council is not authorised by any regulatory authority to give investment advice. Nothing within this document is intended or should be construed as investment advice or offering to sell or advising to buy any securities or financial instruments and appropriate professional advice should always be sought before making any investment.

